

令和5年度

事務管理執行状況点検評価報告書

(令和4年度事務事業対象)

有田市教育委員会

はじめに

本市では、第5次有田市長期総合計画において、将来都市像『人が輝き まちが色づく魅了都市 ありだ ～みんなが躍動する Active Arida～』の実現を目指し、3つの基本理念『みんなの可能性を伸ばすまち【Active Growth】』、『みんなで元気なまちにする意識【Active Sense】』、『新たな生活スタイルで活動的に生きる【Active Style】』を掲げています。

この将来都市像を実現するために、5つの分野別まちづくり目標を定め、その一つ「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」において、教育分野の施策を掲げています。

有田市教育委員会では、学校教育の充実、青少年の健全育成及び生涯学習の推進、文化・芸術・スポーツの振興などに取り組んでおり、市民の皆様を対象として数多くの具体的な事業を実施しております。

令和4年度に教育委員会が実施した主要な事業について、外部評価委員からの意見をもとに、次のとおり点検評価を行い、その結果を報告書にまとめましたのでご報告いたします。

令和5年12月

有田市教育委員会

I 実施方法等について

1. 点検・評価の対象年度と事業

点検・評価の対象は、有田市長期総合計画に基づいて前年度に実施した事業とし、本年度は令和4年度に実施した24事業について実施しました。

2. 点検・評価の方法

- (1) 教育委員会事務局の担当職員が、令和4年度の主要な事務事業を抽出し、各事業について事業コストを確認・点検し自己評価を行いました。自己評価については、評価項目を必要性、有効性、公平性の3項目でそれぞれ5段階評価とし、総合評価については、「十分できている」、「できている」、「あまりできていない」、「できていない」とする4段階評価としました。また、今後の方向性として、「廃止・終了」、「休止」、「継続」、「拡大」、「見直し」を示し、課題と今後の対応などについて述べました。
- (2) 評価の客観性を確保するため、教育委員会評価委員会を設け、外部の立場から意見をいただきました。

なお、教育委員会評価委員会の委員は、次の方々です。

(50音順、敬称略)

氏 名	所 属 等
石 井 秀 明	学識経験者
棚 野 嘉 之	学識経験者
福 永 幸 子	学識経験者
御 前 明 良	学識経験者

3. 評価委員会実施日時

第1回：令和5年11月13日（月）午前9時～午後0時15分
事務局からの説明・質疑応答

第2回：令和5年11月20日（月）午前9時～午後0時20分
評価委員の意見聴取

II. 点検評価結果

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	学校運営協議会（教育振興事業）		担当課名	教育総務課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-1 学校教育		①学校教育の充実			
目的	学校と地域が目的やビジョンを共有することにより学校や地域が抱える課題を解決するとともに、地域を担う人材を育成するために、学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供の成長を支えていく学校づくりを進めること					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に関する基本的な方針の承認 ・学校や地域の課題解決に向けた協議や熟議 ・課題解決に向けた地域や家庭への要請 					
対象者	教職員・保護者・地域の方					
根拠法令等	有田市学校運営協議会規則、有田市コミュニティ・スクール連絡協議会設置要綱					
事業費用	令和3年度		令和4年度		令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	1,026		945		国支出金	
					県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	945
					計	945
事業成果	<p>平成29年度より保護者、地域住民が学校運営に参加する学校運営協議会を市内全校で設置し、活動を開始した。学校評価の取組を一層推進し、課題を共有した地域との連携・協働の在り方を研究するとともに、地域にある人材や教育支援団体を整理・発掘し、学校を核とした地域コミュニティとしての組織づくりを目指している。</p> <p>令和2年度より推進員（元校長）を3名配置し、推進に努めるとともに、校長、教頭等管理職を対象に学校運営協議会に関する研修や各協議会の会長で組織するコミュニティ・スクール連絡協議会を実施し、各校協議会の運営方法や課題等について意見交換を行い、よりよい学校運営につなげることができた。</p> <p>また、学校運営協議会の活動と生涯学習課で実施している地域学校協働活動との一体的推進を目指し、毎月「有田市コミュニティ・スクールだより」を発行し、回覧で市民への周知を図った。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い				
		育てたい子供像、目指すべき教育の目標を学校が地域と共有し、一体となって子供たちの成長を支えていくことができる。学校運営に関わる合議体としての組織であり、学校評価を行う役割を担っている。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供の成長を支えていく学校づくりを進めることができている。						
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い					
	市内すべての小中学校に学校運営協議会を設置している。有田市CS連絡協議会を年3回開催し、各学校間の情報を共有することができている。					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 学校運営協議会の設置から6年が経過し、問題点を改善しながら運営しており、事業として進んでいると判断している。 学校運営協議会においては、情報を共有したり、熟議したりすることで地域社会からの視点で学校運営に多様な意見を反映する場となっている。 今後は学校や地域の課題に応じて、地域とともにある学校づくり及び学校を核とした地域づくりの視点から、地域と学校の連携・協働の在り方をさらに検討していきたい。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	適応指導教室（教育振興事業）	担当課名	教育総務課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-1 学校教育	①学校教育の充実				
目的	何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にある児童生徒に対し、学校とは異なった環境で、教育相談や学習支援等を行うことを目的とする。					
内容	適応指導教室の通室前支援に関すること。 適応指導教室の通室児童生徒への教育相談に関すること。 適応指導教室の学習支援に関すること。 適応指導教室の通室児童生徒の保護者及び学校との教育相談に関すること。 関係機関との連携に関すること。					
対象者	児童生徒・保護者					
根拠法令等	有田市適応指導教室設置要綱					
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）			
決算額 （千円）	3,396	3,882	国支出金			
			県支出金			
			地方債			
			その他			
			一般財源	3,882		
			計	3,882		
事業成果	<p>【体制】指導員 3名、スクールソーシャルワーカー（市費・県費各1名） スクールカウンセラー（県費1名）</p> <p>【場所】須谷教育集会所（有田市宮原町須谷）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員3名が交代制で勤務（1人週3日勤務）を行っている。開所は午前9時30分から午後3時まで。夏季休業日等の長期休業日も日を定めて開所する場合がある。 ・令和4年度通室人数 11名（令和3年度11名） <p>ほとんど毎日通室している者や、適応指導教室に通室しつつ学校にも週に何日か登校している者、学校へほぼ登校できず適応指導教室にも月に数日の通室にとどまっている者など、児童生徒それぞれで通室状況は異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や学校からの相談にも対応している。 ・学校やスクールソーシャルワーカー（市費・県費各1名）、教育委員会担当指導主事等と連携しながら事業を進めている。 					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
		小中学校へ通学したいができない児童生徒にとっての居場所となっている。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
通室で同世代の子との関わりを持てることで、児童生徒の前向きな生活改善に繋がっている。また、学校への登校を再開する生徒や進路選択をして高校への進学を目指す姿が、下学年への良いモデルになっている。						
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
	小さい集団であるが、学校で育む社会性などを適応指導教室へ通室することで獲得する機会ができています。					
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	学校との連携を強化し、不登校児童生徒に対しても家庭訪問をするなど積極的に関わりを持つよう活動を継続、また、公民館等との交流もあり、児童生徒の社会性を育むことへ大変効果があった。				

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	紀の国緑育推進事業		担当課名	教育総務課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-1 学校教育		①学校教育の充実			
目的	森林の観察や間伐体験などの自然体験学習を通して、自然環境保全に対する意識を高め、木工体験等によって物づくりに対する興味や関心を深める。					
内容	森林組合職員による森林学習授業や間伐体験、間伐材を利用した木工体験の実施。					
対象者	児童生徒					
根拠法令等	紀の国緑育推進事業補助金交付要綱（和歌山県） 紀の国緑育推進事業補助金交付要綱取扱要領（和歌山県）					
事業費用	令和3年度		令和4年度		令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	3,048		3,669		国支出金	
					県支出金	3,669
					地方債	
					その他	
					一般財源	
				計	3,669	
事業成果	<p>県の補助金を活用し、実施している事業で、令和4年度は、箕島小5年生42人・田鶴小5年生26人・保田小6年生55人・宮原小5年生43人・港小5年生14人・文中中2年生47人の児童生徒合計227人が参加。</p> <p>森林体験と森林について事前・事後学習することで、森林の働きと自分たちの生活との関わりを理解し、森林保全や林業の大切さを学ぶことができた。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
		身近な森林について興味を持つ機会を創出し、森林の役割について知識を深める機会となっている。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
樹木に実際に触れる体験をすることや、森林学習（事前）や体験学習を通して学んだことを事後学習で定着させることは、森林を保護していくことの重要性を理解するために非常に有効である。						
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
	希望校は参加することが可能で、緑育体験を行うことができる。					
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	県の補助事業を活用することで、森林や環境への関心を高める機会となっている。				

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	学力向上推進事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-1 学校教育	①学校教育の充実		
目的	創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。			
内容	学校司書及びICT活用支援員を配置し学校図書館や情報教育の充実を図るとともに、特色ある学校づくりの推進や英語科・外国語教育の充実を図る。			
対象者	児童生徒			
根拠法令等	教育基本法第5条（義務教育）			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	44,779	48,169	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	41,666
			一般財源	6,503
			計	48,169
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ①学校司書を令和4年度より1名増員。6名配置し、学校図書館の充実を図った。 図書貸出冊数 78,036冊 ICT活用支援員を1名配置し、情報教育の充実を図るとともに、情報機器の管理を行った。 外国人英語指導助手を5名配置し、英語科・外国語教育の充実を図った。 東京書籍株式会社の学力調査を小学校3年生以上で実施し、学力の確認を行った。 <p>令和4年度より県学習到達度調査（中学校）において国語・数学・英語の3教科で年2回の実施となったため、市の予算では中学校を理科・社会に、小学校6年生の国語・算数を新たに実施した。</p> <p>小学校3～5年生 国語・算数（4月実施）小学校6年生 国語・算数（12月実施） 中学校1～2年生 理科・社会（4月・12月の2回実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ②特色ある学校づくりのため各校に委託している事業については、各校独自の事業を実施した。 <p>令和3年度末で閉校した初島中学校で行っていた「初中ソーラン」を継承するため、初島小学校において、法被を詠えて運動会や地域のイベントなどで披露した。</p> <ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想による1人1台のPC配備に合わせ、早い段階で個別の学習のつまづきを解消するため、小中学校の全児童生徒を対象に基礎学力を保障する学習支援ドリル（デジタルドリル）を導入した。 <p>小学校全学年 5教科（国語・社会・算数・理科・英語） 中学校全学年 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）</p>			
自己評価	評価の主な観点等			
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 学力調査で子どもたちの状況を把握することで、授業改善に生かすことができている。学校司書・ICT活用支援員・外国人英語指導助手等がいることで、それぞれの教科等で学びの充実が図られた。		
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 各学校の実態に応じた特色ある教育活動を展開する上で、非常に有効である。		
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い			
	学校司書を増員することにより、1校あたりの学校司書が関わる時間が増えた。1人1台端末で学習支援ドリルを行うことができるため、個別最適な学びを実現させ、子供1人1人の学力向上につながっている。			
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	学校司書の尽力により、図書の貸出冊数は、平成26年度に約50,000冊だったのが、近年約80,000冊となっており大幅に増加している。 ICT活用支援員については、GIGAスクール構想に伴いタブレット端末が児童生徒1人1台整備され、機器トラブルの対応に必須の職員となっている。学校司書については、令和4年度から1名増員しており、ICT活用支援員についても将来的に増員を行っていきたい。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	幼稚園振興事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-1 学校教育	②幼稚園・保育所・小学校の連携強化		
目的	市内にある幼稚園教育活動の向上と保護者経費負担の軽減を図る。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に所在する私立幼稚園への補助金支出 ・就園している保護者に対して入園料・保育料等の補助 			
対象者	ぶっとく・初島幼稚園・就園している保護者			
根拠法令等	有田市私立幼稚園振興費補助金交付要綱、子ども子育て支援法			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	42,026	29,682	国支出金	
			県支出金	
			地方債	0
			その他	0
			一般財源	29,682
			計	29,682
事業成果	<p>①市内に所在する2私立幼稚園に対し補助金を交付した。教育活動にかかる経費の補助は、教育環境の向上と結果として保護者の保育料負担軽減にもつながった。</p> <p>②令和元年10月より国の制度により保育料が無償化され、副食費については第3子以降や所得制限等はあるが軽減の対象となっている。</p> <p>③県の制度により、国の制度に該当しなかった第3子以降についても所得制限等はあるが無償化の対象となっている。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	保護者の所得状況に応じた経済的負担の軽減に寄与している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	保護者の経済的負担を軽減しており有効である。	
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	幼児教育・保育の無償化により、3歳から5歳までのすべての子どもの利用料が無料になっている。	
<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない		【判定理由及び今後の課題と対応】		
総合評価	本制度により多くの保護者の負担が軽減されている。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	また、令和元年10月より幼児教育・保育の無償化により、更に保護者負担が軽減されている。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	小中学校管理運営事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-1 学校教育	④教育環境の整備充実		
目 的	小中学校の管理運営の整備・充実を図る。			
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理（浄化槽、貯水槽、電気設備等の検査や施設の修繕） ・児童生徒の健康管理 ・一般備品、教室用備品の整備 			
対象者	児童生徒			
根拠法令等				
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	258,018	212,078	国支出金	3,735
			県支出金	12,924
			地方債	
			その他	47,178
			一般財源	148,241
			計	212,078
事業成果	<p>浄化槽、貯水槽、電気設備等の管理や検査を業者委託により実施した。学校医等を委嘱し児童生徒の健康管理に努めた。また、用務員等の会計年度任用職員を配置し、円滑な学校運営を行った。</p> <p>施設修繕の主なものとしては、①保田小学校・糸我小学校のプール内面塗装、②宮原小学校・初島小学校体育館へのLED照明設置、③令和3年度からの繰越事業として、学校保健特別対策事業補助金を活用し、給食用手袋、飛沫防止ガード、新型コロナウイルス抗原検査キットなどの校内感染症対策、などの取り組みを行った。</p> <p>令和6年4月開校の有和中学校指定制服等を購入するため、中学校新入学児童1人につき1万円（182件）を補助した。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 学校の適正な維持管理や円滑な学校運営は、良好な教育環境を確保するうえで、また安全安心の維持のため必要不可欠である。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 必要な感染対策等を講じながら、円滑な学校運営を行うことができた。		
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 児童生徒の学びの場を提供している。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	新型コロナウイルス感染症の対策として、学校でも十分配慮し運営を行ったが、昨年度に引き続き、運動会や文化祭については、規模を縮小するなど工夫しながら実施した。今後も引き続き、必要な施設整備を行い、安全な環境を提供していく。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	小中学校教育扶助事業	担当課名	教育総務課																																			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名																																				
	2-1 学校教育	①学校教育の充実																																				
目的	児童生徒の就学に必要な費用の助成を図る。																																					
内容	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者や特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対して、就学のために必要な経費の一部を補助。																																					
対象者	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者 特別支援学級に通う児童生徒の保護者																																					
根拠法令等	学校教育法、学校保健法、学校給食法																																					
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)																																			
決算額 (千円)	21,959	20,436	国支出金	818																																		
			県支出金	0																																		
			地方債	0																																		
			その他	740																																		
			一般財源	18,878																																		
			計	20,436																																		
事業成果	<p>準要保護の認定件数は児童生徒数に比例して減少している。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">学用品費扶助</td> <td style="width: 10%;">R4実績</td> <td style="width: 10%;">231人</td> <td style="width: 10%;">4,235千円</td> <td style="width: 10%;">R3実績</td> <td style="width: 10%;">246人</td> <td style="width: 10%;">4,520千円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>R4実績</td> <td>52人</td> <td>1,809千円</td> <td>R3実績</td> <td>65人</td> <td>1,662千円</td> </tr> <tr> <td>給食費扶助</td> <td>R4実績</td> <td>229人</td> <td>9,594千円</td> <td>R3実績</td> <td>244人</td> <td>10,436千円</td> </tr> <tr> <td>新入学児童生徒学用品費扶助</td> <td>R4実績</td> <td>54人</td> <td>3,183千円</td> <td>R3実績</td> <td>48人</td> <td>3,706千円</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育就学奨励扶助</td> <td>R4実績</td> <td>45人</td> <td>1,614千円</td> <td>R3実績</td> <td>44人</td> <td>1,635千円</td> </tr> </table>			学用品費扶助	R4実績	231人	4,235千円	R3実績	246人	4,520千円	修学旅行費扶助	R4実績	52人	1,809千円	R3実績	65人	1,662千円	給食費扶助	R4実績	229人	9,594千円	R3実績	244人	10,436千円	新入学児童生徒学用品費扶助	R4実績	54人	3,183千円	R3実績	48人	3,706千円	特別支援教育就学奨励扶助	R4実績	45人	1,614千円	R3実績	44人	1,635千円
学用品費扶助	R4実績	231人	4,235千円	R3実績	246人	4,520千円																																
修学旅行費扶助	R4実績	52人	1,809千円	R3実績	65人	1,662千円																																
給食費扶助	R4実績	229人	9,594千円	R3実績	244人	10,436千円																																
新入学児童生徒学用品費扶助	R4実績	54人	3,183千円	R3実績	48人	3,706千円																																
特別支援教育就学奨励扶助	R4実績	45人	1,614千円	R3実績	44人	1,635千円																																
自己評価	評価項目	評価の主な観点等																																				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 学校教育法第19条により、経済的理由によつて、就学困難と認められる学 齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなけ ればならないとされている。																																				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 有田市要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給要綱及び事務取扱要綱に 従い適正・効率的に処理されている。 経済的に困難な家庭等では、毎月の給食費等の支払いも厳しく、児童生徒 が学校での集団生活を送る中で、経済的な面で劣等感を抱くことなく生活が できる事は非常に有益である。																																				
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 有田市要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の認定基準により認 定、支給している。また、個々の事案について学校長より意見をもらい、社 会通念に照らし合わせ認定事務を行っている。																																				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】																																				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	経済的理由により就学困難な児童生徒に対しては必要な制度である。 また、新入学児童生徒学用品費については、寄付により国基準より2万円 増額しており、小中学校の入学前に入学準備金として支給している。																																				

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	情報教育推進事業		担当課名	教育総務課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-1 学校教育		①学校教育の充実			
目的	小中学校の情報教育の推進					
内容	児童生徒1人1台端末や大型モニターなどの情報教育環境の整備。 ICTを活用した授業の実施。 教師のICT活用スキル向上のための研修の実施。					
対象者	小中学校					
根拠法令等	教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則、学習指導要領等					
事業費用	令和3年度		令和4年度		令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	92,200		97,370		国支出金	
					県支出金	
					地方債	
					その他	92,100
					一般財源	5,270
計		97,370				
事業成果	<p>パソコンなどの機器について、平成30年度に中学校の更新を行い5年間のリース契約で使用を開始し、タブレット端末を各校1学年分導入し、また各教室に大型モニター（電子黒板）及び書画カメラを整備した。令和元年度小学校の更新を行い、各校2学年分導入し、中学校と同様に大型モニター（電子黒板）及び書画カメラを整備した。</p> <p>令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、文部科学省がGIGAスクール構想（学校のICT整備）を前倒しし、校内LANの整備及びタブレット端末については、未整備だった残りの台数を整備し、児童生徒1人1台が使用できるよう整備を行った。</p> <p>令和4年度の決算額の増額は、平成30年度に中学校に導入したタブレット端末のバッテリーの交換によるものである。</p> <p>年間利用授業数は、小学校1,147時間（昨年1,180時間）、中学校1,146時間（昨年884時間）となっている。</p> <p>教員のICTを活用した授業についての研修について、令和3年度より開始した市内各学校のGIGA推進リーダーからなるプロジェクトチームを充実させ、組織的な推進に関わる「推進リーダー会議」と個人のスキルアップを目指す「基礎的な操作研修」という、2つの目的別の会議及び研修を計画した。推進リーダー会議については、月に2回オンライン形態で行い、各学校の推進状況の交流や事例の共有を行った。しかし、スキルアップ研修については、部分的な実行に留まった。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い				
		子どもたちが、コンピュータやインターネットを活用し、情報社会に対応できる「情報活用能力」を育成することは非常に重要である。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
スマートフォンの普及など情報機器無しでは生活が成り立たなくなってきたおり、児童生徒が情報化社会に対応できる情報スキルやモラルの習得ともにICTを活用したより分かり易い授業が実施でき有効である。						
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い					
	児童生徒1人1台端末の整備が完了している。					
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 児童生徒1人1台の学習用タブレットの更新は、中学校分は令和6年度の有和中学校開校に合わせて令和5年度末に実施、小学校分は現在のリース契約が終了する令和6年8月までに実施したいと考えており、ハード面の整備は充実している。 学校現場での活用状況を把握し、十分な活用ができるよう教員への研修を充実させていく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	有和中学校建設事業		担当課名	教育総務課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-1 学校教育		⑤有和中学校の開校			
目的	統合中学校の建設を目指す。					
内容	新校舎の建設を行う。					
対象者	生徒					
根拠法令等						
事業費用	令和3年度		令和4年度		令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	1,552,034		3,806,908		国支出金	1,126,767
					県支出金	4,964
					地方債	2,160,300
					その他	486,329
					一般財源	28,548
			計	3,806,908		
事業成果	<p>令和3年度より始まった新校舎建設が令和5年1月31日で完了した。</p> <p>◆設計委託先：限研吾・二本柳慶一設計共同企業体 工事監理業務委託料 令和4年度完了分 71,436千円</p> <p>◆工事請負先：清水・初島・桑原特定建設工事共同企業体 建設工事費 令和4年度業務完了分 3,471,459千円</p> <p>校内ネットワークシステムと教育システム等の情報システムに必要な機器の調達及びシステム構築と箕島中学校校舎からのコンピュータ等の移設を行ったことにより、教員と生徒が教育・学習可能な情報システム環境を整えることができた。 あわせて有和中学校で使用する消耗品や一般備品、教材備品等を整備した。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	<p>新中学校校舎については、令和2年度に設計、令和3年度より工事を開始し、令和5年1月に完成した。</p> <p>令和5年度については、旧校舎の解体及び屋外運動場の整備を予定しており、令和6年4月『有和中学校』の開校を目指している。</p>				

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-1 学校教育	①学校教育の充実		
目 的	学校給食の提供の実施。			
内 容	市内小中学校の児童生徒と教職員約2,000食の安全・安心な給食を提供する。			
対象者	児童生徒			
根拠法令等	学校給食法			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	230,588	218,854	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	23,800
			一般財源	195,054
			計	218,854
事業成果	<p>小学校(198日、250,641食)、中学校(192日、121,104食)への給食を実施し、適切な栄養摂取による健康の保持、望ましい食習慣、豊かな学校生活が図られた。</p> <p>調理機器等についても計画的に更新しており、令和4年度については、老朽化により、長時間の修繕を必要とする故障が頻発していた真空冷却機を更新した。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、学校における食育の推進を図るため、必要不可欠である。	
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	必要な整備を行うことで、安全な給食の提供ができています。	
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	市内全小中学校を対象としたセンター方式で給食調理を行っており、献立も共通なことから公平性は極めて高い。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 センター方式により、全小中学校に効率よく給食を提供できている。蒸気配管、洗浄機器、調理機器等を計画的に更新しており、今後は、調理洗浄器具等だけでなく建物施設や空調機器、廃水施設の更新も考えていきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	生涯学習推進事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-3 生涯学習	①生涯学習推進体制の充実				
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 全市民の生涯にわたって行う学習活動を推進する。					
内容	平成27年度より「みかんの里のフェスティバル！～公民館はこんなことやっています～」を毎年3月に開催し、市内公民館で活動している自主活動サークルによる「作品展示」「芸能発表」を中心に、子どもが参加できるイベントや体験教室なども実施し、生涯学習を市民に広く知ってもらおう機会としている。令和元年度からは新型コロナウイルス感染拡大のため中止となり、令和4年度より隔年開催となった。					
対象者	全世代					
根拠法令等	有田市生涯学習推進計画					
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）			
決算額 (千円)	427	561	国支出金			
			県支出金			
			地方債			
			その他			
			一般財源	561		
			計	561		
事業成果	<p>令和5年3月に「第6回みかんの里のフェスティバル！」を開催 参加者が、楽しくこれからの「自分づくり、地域づくり、人づくり」を考える機会を創出した。</p> <p>【開催日】 令和5年3月4日～5日 【開催場所】 有田市民会館 【来場者】 1, 800名 【出展数】 40サークル 336名 647点 【出演者】 20サークル 174名</p> <p>公民館利用サークルの作品展示やステージ発表、体験コーナーや模擬店、子ども達の作品など多数の催しを実施。新型コロナウイルスの感染拡大に気を付けながら、平成30年度以来の開催になった。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 「みかんの里のフェスティバル！」は、2年に1度の開催となり来場者も年々増加し、市民からも高評価を得ていると感じている。新型コロナウイルス感染症拡大のため、5年ぶりの開催となったが、公民館の活動を市民の方に広く知ってもらいたい機会になり、生涯学習の推進にも繋がった。 今後も「みかんの里のフェスティバル！」の開催は必要であり、多くの市民が集い・交わり・学ぶ場として重要な役割を果たしている。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	子ども居場所づくり事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-2 青少年健全育成	②子ども・若者育成支援				
目的	「心の豊かな人を育み、地域で支えあうまち」 子どもたちの安心・安全で健やかな居場所づくり、並びに様々な体験学習や地域の大人との交流の中で、心豊かな子どもたちを育てる。					
内容	教員0Bが指導者となり、小学校4校において夏休みに8日間、学校の空き教室等を使用し「国語っておもしろかったんだ教室」を実施した。					
対象者	小学校3年生・4年生					
根拠法令等	和歌山県子どもの居場所づくり推進事業補助金交付要綱					
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)			
決算額 (千円)	574	559	国支出金			
			県支出金	372		
			地方債			
			その他			
			一般財源	187		
			計	559		
事業成果	<p>子どもの生活サイクルが乱れがちな夏休みの午前中に、規則正しく学習する場を設けることで、生活習慣と学習習慣の確立が図られた。また、学力を高める上で重要と思われる小学3・4年生を対象とし、全ての学習の基礎となる科目である国語に特化した教室とした。</p> <p>【活動場所】 田鶴小学校・港小学校・初島小学校・糸我小学校</p> <p>【活動日】 夏休み期間中に各校8日間</p> <p>【参加者児童数】 田鶴小学校8人・港小学校5人・初島小学校11人・糸我小学校14人</p> <p>【延べ参加児童数】 田鶴小学校48人・港小学校27人(2日間コロナで休校) 初島小学校80人・糸我小学校105人</p> <p>【指導者】 元教員2名(4校) 学校支援員1名(4校)</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 市内全小学校での実施を目標としているが、指導者の確保が難しく実施に至っていない。 今後、事業内容の見直しを含め、全小学校で実施していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和4年度 事務事業評価調査

事業名	公民館管理運営事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-3 生涯学習	②公民館の機能や設備の充実		
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 地域住民の交流の場として、地域づくり並びに人と人とのつながりを具現化し、地域のニーズ・課題の解決を図る取り組みを実施する。			
内容	地域のニーズに応じた生涯学習・社会教育の充実を図る。 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の地域住民が交流できる主体的な事業を実施するとともに、館の適切な維持管理に努め、機能や設備、運営体制などの充実を図る。			
対象者	全世代			
根拠法令等	社会教育法、有田市生涯学習推進計画			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	49,904	62,147	国支出金	5,069
			県支出金	
			地方債	
			その他	16,604
			一般財源	40,474
			計	62,147
事業成果	<p>市内8地区に設置されている市立公民館は、地域住民の学習拠点として、また、人と人がつながり合う場として、地域に根差した活動を行っている。</p> <p>8館それぞれが独立並列館である特色を活かし、地域の特色やニーズを吸い上げ、独自の学習プログラムを企画した自主事業を行っており、地域住民の生涯学習・社会教育が推進されている。</p> <p>また、地域住民の交流の場として、多種多様なジャンルのサークル活動が展開され、地域づくり並びに活動拠点としての役割を果たしている。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながらではあったが、開かれた公民館運営を行うことができた。</p> <p>令和4年度は、ふるさと応援寄付金活用事業を活用して保田公民館の外壁改修工事、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用して無線環境整備、空気除菌脱臭機、サーマルカメラの設置を行った。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	市民の主体的な学習活動を支援し、活動の機会や交流の場を提供するなど、生涯学習の推進を図るために必要不可欠な施設である。	
		<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	地域の生涯学習の拠点施設であり、地域コミュニティづくりに大きく役立っている。 会計年度任用職員の館長、主事、主事補が、交代しながら効率的に勤務し、午前9時から午後10時までの開館時間をまかなっており、施設の修繕や備品の更新については、限られた予算の中で優先順位をつけて実施している。 また、市内8館の年間延べ利用者数は令和4年度で53,440人であり、市民の社会教育推進に大いに役立っている。	
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	市内8自治会に、それぞれ設置されており公平性は高い。 また、使用条件により、条例・規則に基づいた使用料の徴収又は減免措置が行われている。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 継続すべき施設であると考えられるが、各公民館共通の課題として、建物及び設備が老朽化しており、維持するための補修必要箇所が増加している。 「有田市公共施設等総合管理計画」に基づき、公民館個々について、統合や他の公共施設との複合化も含めて今後の方針を検討していく必要がある。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し			

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	青少年教育活動事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-2 青少年健全育成	①青少年育成関係機関・各種団体との連携				
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 未来を担う子ども・若者の健全育成の推進。					
内容	青少年健全育成に関わる活動を行っている団体への支援、並びに地域の教育力の向上のための各種活動の支援。					
対象者	全世代					
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法、有田市生涯学習推進計画、有田市青少年育成事業補助金交付要綱					
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)			
決算額 (千円)	1,289	1,685	国支出金			
			県支出金	120		
			地方債			
			その他			
			一般財源	1,565		
			計	1,685		
事業成果	<p>子供クラブや青少年健全育成団体の交流活動を通じ、青少年の主体性の向上、社会的な規律の習得、人間関係の構築等を目指す支援へと繋がった。</p> <p>ジュニアリーダー研修会は、リーダー的役割を担う子ども・若者を育成するための、また、地域の子ども会活動や行事が楽しく進むためなどリーダーの果たす役割は大きく、リーダー自身の成長へも繋がったように感じている。</p> <p>親子の体験の場として「親子体験教室」を開催した。家では体験できない貴重な時間を過ごし、親子のふれあいや絆を感じてもらえる機会となった。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 青少年健全育成を推進する団体の活動は、地域の特色を活かしながら継続的に行われているが、市民への周知を深めることで、より一層地域に根差した活動が期待できる。 ジュニアリーダー研修会では、リーダー的役割を担う子どもの育成、親子体験教室では、普段家では体験できない貴重な時間を過ごしてもらうなど社会体験を通じて深く関心を高めてもらいたい。 今年も新型コロナウイルス感染が拡大している状況であったが、その中で出来る事業を工夫しながらの開催であった。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-2 青少年健全育成	②子ども・若者育成支援				
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 子どもたちの安心・安全で健やかな居場所づくり、並びに様々な体験学習や地域の大人との交流の中で、心豊かな子どもたちを育てる。					
内容	公民館において実施されている「地域ふれあいルーム」など、土曜日や放課後における子どもたちの居場所を確保し、様々な体験活動や地域住民との交流の機会を提供する。					
対象者	全世代					
根拠法令等	和歌山県放課後等子ども教室推進事業費補助金交付要綱					
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)			
決算額 (千円)	2,605	2,836	国支出金			
			県支出金	1,890		
			地方債			
			その他			
			一般財源	946		
			計	2,836		
事業成果	子ども達に安心・安全な居場所を提供できたと共に、体験学習や地域の大人との交流により、子ども達の社会性・自主性・創造性・豊かな人間性・自己肯定感等を育み、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進することができた。令和4年度についても、新型コロナウイルスの感染拡大のため、通学合宿が中止となった。					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
		子どもの自主性や社会性を高めるとともに、地域社会全体の教育力向上を図るため必要不可欠な事業ととらえている。				
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
放課後や週末における地域の子どもの安心・安全な活動拠点の確保に役立っており、地域の様々な資質を有する多くの人々の参画を得て、子ども達に様々な体験・交流・学習活動の機会の提供が図れている。 また、例年では3地区で「通学合宿」が開催され、「たこ作り教室」、「たこあげ大会」など効果的に行われている。						
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
	市内8公民館において実施しており、市内全域の小学生を中心に十分な周知がされているため、事業効果は公平に配分されている。					
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	現代の子どもに必要な体験やニーズを把握し、伝統文化にふれたり、新たなテーマで体験学習や講座が実施できるよう、今後もコーディネーター(公民館主事・主事補)の資質向上や、地域の指導者の育成及び発掘に努める。				

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	はたちのつどい開催事業	担当課名	生涯学習課																				
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名																					
	2-2 青少年健全育成	②子ども・若者育成支援																					
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 これからの有田市を担っていく人材として、社会人の自覚を促し、「はたちのつどい」として再会する機会をつくる。																						
内容	はたちを祝い、参加者には周りの人たちへの感謝の心と、これから大人としての第一歩を踏み出すことへの意識を高める機会とする。																						
対象者	平成14年4月2日 ～ 平成15年4月1日 生まれの者																						
根拠法令等	民法（成年年齢）																						
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）																				
決算額 (千円)	527	752	国支出金																				
			県支出金																				
			地方債																				
			その他																				
			一般財源	752																			
			計	752																			
事業成果	<p>式典は、はたちのつどい代表者による司会によって進められ、オープニングアトラクション（サウンドアート）、開会宣言、市長祝辞、来賓祝辞、はたちのつどい代表者による「誓いの言葉」、スライドショーなどが行われた。</p> <p>令和4年度についても、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、式典時間の短縮を行った。また、最後に中学校別の記念写真撮影を行った。</p> <p>推移：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新成人数</td> <td>273人</td> <td>258人</td> <td>266人</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>256人</td> <td>227人</td> <td>240人</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>93.8%</td> <td>88.0%</td> <td>90.2%</td> <td>90.9%</td> </tr> </tbody> </table>				R1	R2	R3	R4	新成人数	273人	258人	266人	275人	参加人数	256人	227人	240人	250人	参加率	93.8%	88.0%	90.2%	90.9%
	R1	R2	R3	R4																			
新成人数	273人	258人	266人	275人																			
参加人数	256人	227人	240人	250人																			
参加率	93.8%	88.0%	90.2%	90.9%																			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等																					
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い																	
		これからの時代を担っていく参加者を祝福するとともに、志新たに人生を歩む機会としては必要である。																					
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い																	
過去には、新成人による実行委員会を組織し、式典の内容を企画運営したこともあるが、今は、事務局が取り仕切っている。 近年、参加率も上昇傾向にあり、オープニングアトラクションの充実を行うなどし、参加者の思い出の一助となっている。																							
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い																		
	生年月日が対象範囲であれば、誰でも参加できるが、案内のハガキは、事務的に現在の住民票をもとに送付せざるを得ないため、転出者には、本人または家族からの連絡がないと案内できない。HPへは掲載している。																						
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】																					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	<p>感染症対策や、マナーの悪い参加者も居たが、今年は特に落ち着いている。</p> <p>また、民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられているが、対象年齢は20歳のままとし、名称を「令和5年有田市はたちのつどい」と改め開催した。</p> <p>今後、18歳に引き下げて実施するかについては、有田郡市で協議を進め、統一して実施していきたい。</p>																					

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	社会体育活動事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	③スポーツ環境の充実		
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 地域スポーツへの支援や生涯スポーツに親しむことができる機会等の創出により、市民一人ひとりがスポーツ活動を主体的・継続的にできる環境を構築する。			
内容	スポーツ大会等の開催 有田市体育協会への支援			
対象者	市民、市体育協会加盟団体			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	4,990	4,435	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	784
			一般財源	3,651
			計	4,435
事業成果	<p>市のスポーツ振興を目的とする有田市体育協会(27団体加盟)に補助金を交付し、多数の市民が参加するスポーツイベントを開催した。特に、下記については、新型コロナウイルス感染症が収束したことにより3年ぶりの開催となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「金沢市・有田市スポーツ交流」 有田市少年サッカーチームが金沢市を訪問し試合等を行い交流を深めた。 ◇「有田市体育協会設立50周年記念事業」 アテネ・北京オリンピックの柔道金メダリスト 谷本 歩実 氏を招いて、講演会と柔道教室を行った。 ◇「第55回有田市内駅伝大会」 13チーム52名が参加。 ◇「第81回歩こう会」 参加者63名が奈良県の曽爾高原を訪れウォーキングを行った。 			
自己評価	評価の主な観点等			
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	たくさんの市民が参加できるスポーツイベントは必要不可欠である。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	体育協会の活動を支援することで効果的にスポーツの振興が図られている。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	誰もが参加できるよう、できるだけ対象を広げ公平性を確保している。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	コロナ禍の収束により、様々なスポーツイベントが開催できる状態となったことから、社会体育振興においては昨年度以上の成果が得られた。 今後、既存の事業を精査し、誰もがもっとスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	生涯スポーツ振興事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	③スポーツ環境の充実		
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 地域スポーツへの支援や生涯スポーツに親しむことができる機会等の創出により、市民一人ひとりがスポーツ活動を主体的・継続的にできる環境を構築する。			
内容	スポーツ教室の開催 全国大会出場選手への激励 総合型地域スポーツクラブへの支援			
対象者	市民、高校生以下の児童・生徒			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	2,420	2,562	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	1,854
			一般財源	708
			計	2,562
事業成果	<p>各種スポーツ競技の体験教室を開催することで、スポーツ人口の増加を図った。 ◇スポーツ教室 参加者：171人(14種目)</p> <p>全国大会等に出場する高校生以下の児童・生徒に対し奨励金を交付することで、出場する選手を激励し、競技力向上とスポーツ振興を図った。 ◇全国大会等出場奨励金 99件(昨年度87件)</p> <p>地域におけるスポーツ活動の拠点であり、地域住民の交流の場となる総合型地域スポーツクラブの設立に向けた準備を行う団体に対し、活動経費にかかる補助金を交付した。 ◇総合型地域スポーツクラブ創設支援事業補助金(1,080千円)</p>			
自己評価	評価の主な観点等			
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い スポーツ人口の増加を図るための体験教室や、総合型地域スポーツクラブの必要性は高い。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 多数のスポーツ教室を実施し参加者を広く募集することで、各種競技団体の活動支援にも繋がっている。		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い スポーツ教室や総合型地域スポーツクラブは異年齢の子どもや多世代の交流の場となっている。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	スポーツ教室を充実させ参加者の増加に取り組むほか、総合型地域スポーツクラブなど、生涯スポーツ振興のため地域で活動する団体を支援する。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	社会体育施設管理事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	③スポーツ環境の充実		
目 的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 誰もが安全・快適に利用できる施設整備を推進する。			
内 容	社会体育施設の管理・運営			
対象者	市民、社会体育施設利用者			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 (千円)	26,593	95,670	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	53,978
			一般財源	41,692
			計	95,670
事業成果	<p>指定管理制度の導入により、民間の能力を活用することで、体育施設利用者へのサービス向上と運営の効率化が図れた。</p> <p>◇指定管理者：特定非営利活動法人 和歌山箕島球友会 ◇管理施設名：市民球場、市民体育館、初島庭球場 ◇指定管理料：15,788千円（令和4年度） ◇指定管理期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）</p> <p>【社会体育施設の主な修繕】 ◇市民体育館照明LED化（21,390千円） ◇市民体育館屋根塗装（19,312千円） ◇初島庭球場照明LED化（15,565千円）</p>			
自己評価	評価の主な観点等			
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い		
	市民の健康増進やスポーツ振興のため、体育施設の必要性は極めて高い。			
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い		
令和4年度において延べ4万を超える利用者が有り、県外からのスポーツ合宿などにも利用されている。				
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い			
市主催行事などでは優先的に施設を利用しているが、それ以外は公平性が担保されている。				
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	社会体育施設（市民球場、市民体育館、初島庭球場）は、いずれも老朽化が進行し深刻な問題となっている。これからも長く、安全・快適な運用を続けていくためには、適切な時期に大規模な改修が必要となる。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	市民水泳場管理運営事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	④BIG SMILEプロジェクトの推進		
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 誰もが安全・快適に利用できる施設整備を推進する。			
内容	市民水泳場「えみくるARIDA」の管理・運営 初島小学校プール、港小学校プールの夏期一般開放			
対象者	市民、市民水泳場利用者			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	85,553	82,650	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	81,349
			一般財源	1,301
			計	82,650
事業成果	<p>BIG SMILEプロジェクトのもと、厚生労働省が認定する健康増進施設として令和2年度にオープンした市民水泳場「えみくるARIDA」は、年々利用者が増加し、令和4年度では、年間延べ17万人を超える利用者が得られるなど、市民の健康増進と体力向上に役立っている。</p> <p>◇指定管理者：ありだスポーツコミュニティ創造パートナーズ ミズノスポーツサービス株式会社</p> <p>◇管理施設名：えみくるARIDA</p> <p>◇指定管理料：81,344千円（令和4年度）</p> <p>◇指定管理期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）</p> <p>また、以前、初島地区、港町地区にあった屋外水泳場3施設が閉鎖されたことによる代替として、初島小学校及び港小学校のプールを、夏休み期間中に一般開放し、安全で快適に利用できるよう管理を行った。</p>			
自己評価	評価の主な観点等			
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 身近に利用できるプールやトレーニングジムがあることは、市民の健康増進や体力向上を図る上で必要性は高い。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い えみくるARIDAでは、健康増進プログラムの充実などにより利用者の増加が図られ、施設が有効に活用されている。		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い えみくるARIDAでは、バリアフリー化された誰でも利用できる施設であり、料金設定も年齢等により細分化され公平性は高い。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	市民水泳場「えみくるARIDA」は、指定管理制度の導入により、民間の能力を活用しながら、健康増進施設としての有効活用を図るための体制が整い、利用者サービスの向上と、市民の心と体の健康に役立てることができる施設となっている。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	図書館運営事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-4 文化・芸術・スポーツ	①文化・芸術環境の充実				
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 市民の生涯学習の一助となるための図書館活動を目指す。					
内容	図書及び記録その他必要な資料を整理・収集・保存するとともに、図書管理システムを運用することによって、市民のための情報提供を迅速に行う。					
対象者	図書館利用者					
根拠法令等	図書館法					
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)			
決算額 (千円)	54,181	98,749	国支出金	10,794		
			県支出金			
			地方債			
			その他	54,102		
			一般財源	33,853		
			計	98,749		
事業成果	<p>図書の購入、本の貸出・返却、情報の提供の日常業務、市内各施設への配本サービス、映画会やお話会等を実施し、市民のみならず、市民のみなさんに図書及び図書館に親しむ機会を提供することができた。</p> <p>令和4年12月22日から、ありだ市電子図書館サービスを開始し、いつでもどこでも繋がる図書館として、来館が困難な市民に対しても資料の提供を行うことができた。</p> <p>コロナ禍においても閉館することなく、返却資料および共有部分の消毒を行い、イベントについては、3密を避け、広い空間で少人数で実施するなど工夫して開催した。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 市民の知りたい学びたい欲求に応えるため、図書を充実させ、レファレンス業務に取り組み、電子図書館を導入した。 運営については、司書資格所持者を含む正職員・会計年度任用職員がカウンター業務、選書、レファレンスサービス、イベント開催等、協力のもと有効に取り組んだ。 乳幼児から年配の方まで幅広い年齢層の方が誰でも気軽に利用できることから、事業継続の必要性は非常に高い。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	文化振興事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	①文化・芸術環境の充実		
目的	「心豊かな人を育み、地域で支えあうまち」 市民一人ひとりが個性や能力を活かし、心の豊かさを実感できる市民生活実現のため、文化活動に参加でき親しめる機会を広げる。			
内容	美術展・文化祭、芸能大会、文化振興活動への補助。			
対象者	市民他			
根拠法令等	文化芸術基本法、社会教育法			
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	11,464	14,641	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	8,980
			一般財源	5,661
			計	14,641
事業成果	<p>子供向けのコンサートや本格的なクラシックコンサート・映画会・講演会など年間16回の自主事業を実施し来場者の80%以上の方より良かったとの意見を頂いた。</p> <p>芸能大会、美術展・文化祭などコロナ禍であったが、工夫をしながら実施し、普段の活動の発表の場としての機会を提供できた。また、多くの方々に来場いただき、市の文化活動の振興に寄与している。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	音楽・演劇・美術その他芸術の発表や開催は市民の文化的教養を高めるための一助となる事業と考えています。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	市民の生活の豊かさを高めるため、この事業では生涯学びそれを発表する、また芸術に触れる機会を持つことが教養を高めるために必要と考えます。 関連団体の人的・資金的協力を得ながら事業を遂行できていることから当事業は有効な事業であると思われます。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	多様な方々が参加・鑑賞が可能である事業となるよう、個を尊重できるよう取り組んでいます。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	本事業は、関連団体との協力体制をとりながら、多数の市民が係わり、かつ質の高い内容を維持できている。しかしながら、内容が多岐にわたり、係わる市民も多い中、それぞれの自主的な活動を重んじながら、いかに公平性を維持し、ニーズのある事業を展開できるかが今後の課題である。		

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	文化財保護費		担当課名	生涯学習課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-4 文化・芸術・スポーツ		②文化財保護の充実			
目的	「心豊かな人を育み、地域で支えあうまち」 文化財の保護、伝統文化の伝承により、市民が心豊かに暮らし、活気あるふるさとをつくる。					
内容	市内にある文化財の保護、伝統文化の継承、情報の整理と公開。					
対象者	市民他					
根拠法令等						
事業費用	令和3年度		令和4年度		令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	2,264		4,050		国支出金	1,677
					県支出金	167
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	2,206
			計	4,050		
事業成果	<p>年2回の文化財パトロールにより文化財の保護に努めている。</p> <p>本年度は、有田市星尾に所在する明恵紀州遺跡率都婆の石造率都婆について、保存修理を行い、修理報告書を作成した。これに伴い、率都婆保存修理の際に重機進入路・作業スペースを確保する為の樹木剪定を行い、劣化した説明板を新調した。また、郷土資料館にて修理内容のパネル展示を行い、修理事業の周知を行った。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い				
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない		【判定理由及び今後の課題と対応】			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し		指定文化財の保護については、文化財パトロールをはじめ、種々の制度を活用し文化財の保護に努めてきたが、今一度市内の文化財をくまなく調査し、再評価することによって、本当に保護していくべき文化財の洗い出しが必要である。			

令和4年度 事務事業評価調書

事業名	特別展開催事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	②文化財保護の充実		
目 的	「心豊かさを実感できるまち」 有田市の文化財にふれることで、有田市の魅力について再確認する。			
内 容	創建350周年記念特別展の開催（南龍神社と矢櫃）			
対象者	市民他			
根拠法令等				
事業費用	令和3年度	令和4年度	令和4年度決算財源内訳（千円）	
決算額 (千円)	1,157	633	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	
			一般財源	633
			計	633
事業成果	<p>創建350周年記念特別展【南龍神社と矢櫃】</p> <p>* 開催期間 令和4年9月23日から令和4年11月27日</p> <p>* 来館者数 3,932人（ギャラリートーク含む）</p> <p>多くの市民が来館し、ギャラリートーク等のイベントを開催した結果、市民の郷土愛醸成・文化財保護意識向上に繋がった。また、市外からの来館者も多く、有田市特有の文化財とその歴史や魅力について知られることとなった。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <p>特別展を開催することで、その内容に応じた文化財の整理・情報収集を行い、特別展の図録を作成することで記録としても活用できる。特に、お日待ちなどの風習については、一度整理して記録に残すことは重要である。</p>		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い <p>市民意識として地域に身近な文化財を取り上げることで、文化財保護の意識向上に寄与していると考えます。</p>		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い <p>有田市及び周辺地域を含めた内容の特別展を開催している。継続して開催することで、地域や内容の偏ることのないように努めている。</p>		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	文化財保護の重要性を理解していただけるよう工夫を凝らした特別展を開催した。今後は、できるだけ多くの年齢層に興味を持ってもらえるよう、広報活動に努めるとともに開催内容を充実させていく。		

Ⅲ. 評価委員会の意見

事業に対する意見・質問

【教育総務課】

○学校運営協議会（教育振興事業）

- ・市内の全学校に協議会は設置されていますか。有和中学校になったらその分減るのですか。
(回答) 全ての学校に設置されており、協議会委員の任期は2年となっています。有和中学校が開校したら改めて協議会委員を委嘱させていただきます。
- ・学校教育と社会教育の融合のためにも地域の方の意見をどう取り上げるかが課題と感じています。コミュニティ・スクール連絡協議会以外にも学校が意見を聴取する機会がありますか。
(回答) 学校運営協議会以外にも関わってくれている方もいますが、運営協議会委員には公民館長や保護者だけではなく地域の方々の参加もありますので、この会を有効に活用しています。
- ・事業が始まって6年が経過していますが会議の質はどうか。
(回答) 校長経験者であるコミュニティ・スクール推進員を3名配置し、各運営協議会にオブザーバーとして参加することで、会議の質を向上させるよう努めています。
- ・学校間の差があると思いますが研修会はありますか。
(回答) 年度当初に運営協議会についての研修、年度途中には外部講師による事例紹介や他校の運営協議会との交流を目的として研修を実施しています。
- ・運営協議会の会長会も開催されており、そこで情報交換することで発展していていると思います。

○適応指導教室（教育振興事業）

- ・学校で通常通り授業を受けている児童生徒と学習内容は異なりますが、進級は同じですか。
(回答) 適応指導教室に通室していれば出席扱いであり、進級は地域の学校に通学している児童生徒と変わりありません。また、出席日数が10日以下など極端に少ない児童生徒もいません。
- ・適応指導教室へは保護者が送迎していると思いますが、保護者による送迎が困難な場合はどうなるのですか。
(回答) 保護者の送迎が難しい場合は、適応指導教室の職員やスクールソーシャルワーカーが送迎のサポートをしたり、デマンドバスを利用したりして通室する児童生徒もいます。
- ・通級指導教室では何の活動をしているのですか。
(回答) 学校の授業を配信で受けたり、宿題をしたりしています。体を動かす活動としては卓球をしたり、外出して地域を散策したりしています。
- ・他市町村の適応指導教室の担当者と交流はありますか。
(回答) 県の不登校に関する研修やスクールソーシャルワーカーの研修で他市町村とも交流しています。

○紀の国緑育推進事業

・毎年実施を希望する学校は変わらないのですか。実施しない学校は緑育推進事業とは別に特色のある活動を行っているのですか。校長会等で情報共有したり、異動で変わってきた先生が広めたりしていますか。

(回答) 実施している学校は継続事業として実施してきているのだと思います。

・よい事業なので未実施の学校にも広がればいいと思います。

・決算額増の要因は何ですか。

(回答) 講師などの受け入れ料金の値上げです。

・複数日かけて実施するのですか。

(回答) 事前学習や当日の活動のほか、終了後の振り返りをしています。

○学力向上推進事業

・図書の貸出冊数の減少の要因は何ですか。

(回答) 年間一人当たりの平均貸出冊数は、令和3年度は46.2冊、令和4年度は44.9冊となっています。だいたい一人当たり1冊程度減少したことで、児童生徒数が全体で50名程度減少したことが要因です。

・図書室を全く利用していない児童生徒の調査をしたことはありますか。

(回答) 調査対象者は限定されますが、全国学力学習状況調査の結果によると、「まったく読まない」と回答した割合が小学校6年生では、17.2%で全国平均よりは低く、中学校3年生では37.1%で全国平均とほぼ同程度でした。

・ICT活用支援員は当初は4校に1人程度が基準だったと思いますが、有田市で1人ですか。今後増員する予定はありますか。

(回答) 将来的な課題として増員を考えていますが、来年度は現状維持の1名です。

・この事業の目的である特色ある学校づくりがピンときません。他校と比較して一歩進んでいる計画やモデルとなるような取り組みがあれば教えてください。

(回答) 例えば、箕島中学校が実施したICT活用事業の「よむYOMUワークシート」(補助教材)が好評だったので、来年度は他校にも広げていきます。今後は事業内容や取り組みを分かりやすく記載するようにします。

・児童生徒がコミュニケーション技術を身に付けることが重要だと思うので、作文の発表会をしたり、ICTを活用して分析発表したりする場を設けるといいと思います。特色ある学校づくりをもっと掘り下げて進めていただきたいです。

(回答) 市内3中学校の交流事業である「ゆうわプロジェクト」を実施して、発表の場を設けています。

・各学校の特色を明確にして取り組んでいただきたいです。また、地域の特色を活かした取り組みを実施していただきたいです。

・各学校の取り組みも大事ですが、働き方改革の観点から学校現場の負担増とならないようにしていただきたいです。

○幼稚園振興事業

- ・意見なし

○小中学校管理運営事業

- ・学校内で事故は発生していませんか。

(回答) 発生していません。なお、プール改修は床面の破片によるけが防止のため計画的に実施してきました。

○小中学校教育扶助事業

- ・新入学学用品費の市独自の2万円増額分の財源ははふるさと応援寄付金かと思いますが、財源が不安定ではありませんか。実施が特定年度に限定されませんか。

(回答) 個人のふるさと納税ではなく、企業から貧困家庭への支援として寄付をいただいているので、当面は継続できる予定です。

- ・対象者は基準にそって認定されているのですか。

(回答) 毎年、申請してもらい、基準を満たしていることを確認した上で認定しています。

○情報教育推進事業

- ・教員のICTスキルには格差があると思われませんが、教員のICT研修は校内で実施するのですか、外部で実施するのですか。

(回答) 同じ学校内での格差や学校間での格差もあります。各小中学校の代表者で結成したプロジェクトチームである推進リーダー会議とICTスキルが未熟な教員向けの基礎的な操作研修の2本立てで研修を進めています。推進リーダー会議では月2回オンラインで各校の取り組みを共有したほか、夏休みには対面で会議を行いました。基礎的な研修では、ICTが苦手な先生にニーズを出してもらって分からないことをICT活用支援員や各校のリーダーと一緒に研修することで解決しています。

- ・ICTが苦手な教員も活用できるように、教員のステップアップのための計画を立てていただきたいです。
- ・児童生徒一人ひとりが落ちこぼれないように、学校全体で操作技術を勉強して協働的に取り組んでいけるようにすることが大事だと思います。情報化社会の中で、自分に必要な情報を取り入れて生活に役立てるように、将来の生活力向上のための力を身に付けさせることも大事だと思いますが、教育委員会として方針は定めていますか。

(回答) 児童生徒が学ぶためのツールとしてのICT活用を効果的に授業に取り入れることで、児童生徒自身が主体的に学ぶ機会を増やし、学びの質を向上していきたいと考えています。

- ・外国では家庭でもICTを活用していますが、日本でも家庭での活用を増やしてほしいと思います。デジタル教科書についても、もっと活用していただきたいです。

(回答) ICTは学習のツールであり、より有効的にツールとして活用できるようにしていきます。

- ・ICTの活用は児童生徒の個性を磨く上で重要だと思うので、ICTを嫌いにならないようにしていただきたいです。
- ・授業では児童生徒がメモを取るのもタブレットを活用し、随時共有している姿を見ます。教員よりも児童生徒の方がICTについて詳しい場合もあるかと思います。保護者として、箕島中学校ではICTの活用は進んでいると思います。統合をきっかけにますますICTの活用が広がっていくといいと思います。
- ・GIGAスクール構想の趣旨と目的を再度理解して、より一層、教員への研修の充実をしていただきたいです。

○有和中学校建設事業

- ・災害時の避難場所となっていますが、水害での浸水被害の懸念はありませんか。
(回答) 電源設備であるキュービクルは体育館棟の屋上に設置しています。自家発電設備も同様です。自家発電設備は重油で3日間供給可能です。重油タンクは地下に埋設していますが浸水しないように対策しています。また、避難場所とするために屋上への避難階段は外からも入ることができるようにしています。
- ・現在工事中のグラウンドはどこまで広がりますか。
(回答) 建物以外はすべてグラウンドになります。旧校舎があったところもグラウンドになり、グラウンド周囲には防球ネットを張ります。
- ・メディアセンターの役割は何ですか。
(回答) 特別教室があります。今は外部に貸し出していませんが、将来的には貸し出しも考えています。
- ・外部から校舎の見学に来られることもあるのですか。
(回答) 県外の自治体なども視察に来られています。

○学校給食センター管理運営事業

- ・給食センターに管理栄養士は何人いるのですか。
(回答) 2名います。
- ・食中毒対策として、委託業者や食材納入業者への指導も重要だと思います。
(回答) 文科省の「調理場における衛生管理&調理技術マニュアル」を元に適切に対応しています。
- ・万が一、食中毒が発生したら給食はどうなるのですか。
(回答) 3日間の営業停止となりますので、その間は自宅から弁当持参になると思います。
- ・1食あたりいくらかかるのですか。
(回答) 保護者に負担いただいている給食費は小学校240円、中学校265円です。実際の経費としてはその2倍程度です。
- ・食材費が値上がりしていますが対応できていますか。
(回答) 食材費高騰に対応するため、令和5年12月議会で補正予算を計上します。保護者負担額は据え置きです。

【生涯学習課】

○生涯学習推進事業

- ・みかんの里のフェスティバルに補助金は出していますか。

(回答) 補助金ではなく、市の一般財源として支出しています。公民館の活動発表の場であり、公民館職員が中心となり運営しています。

○子どもの居場所づくり推進事業

- ・指導者確保が課題になっていますが、解決に向けてどうしていくのですか。

(回答) 今年度中から指導者となっていただきたい方にお声掛けし、早めの指導者確保に努めます。令和5年度は元教員2名、学習支援員2名にお願いしました。

- ・指導者確保に向けた計画を内部で検討し、作成いただきたいです。
- ・以前は学生にも指導者となっていたのですが、今はどうですか。

(回答) 試験日程との兼ね合いや教員を目指す学生の減少もあり、現在は学習支援員や学校司書に指導者となってもらっています。

・教科を増やすと指導者確保がより難しくなることや、じっくり学習することを基本において、これまでのように国語中心で全体のうちの半数以上を国語にした方がいいと思います。

- ・学校司書は比較的時間に余裕があると思いますがどうですか。

(回答) 令和5年度は学校司書に来ていただき、国語以外に読書の時間も設けました。

- ・事業の財源や指導員への報酬はどうなっていますか。

(回答) 県の補助金を活用しており、補助上限に合わせて時給1,200円の報酬です。教室で使用する消耗品費等も県の補助金の対象です。

・各校で内容を均一にせず、それぞれ特性をつければよいと思います。例えば、田鶴小学校は未来の漁業、糸我小学校は農業など。

- ・保護者からの評価はどうですか。

(回答) 終了後アンケートを実施したところ、子供からは体育など他の教科もしたいとの声がありました。保護者からは夏休み中でも規則正しい生活できたので参加させてよかったとの声がありました。

- ・参加者の募集方法はどのようにしていますか。

(回答) 小学校で3・4年生に案内を配布し、各学校で取りまとめて参加者を報告してもらっています。

○公民館管理運営事業

- ・今後の方向性の見直しは建物についてですか。

(回答) はい。

- ・各公民館は老朽化していますが修繕の予算は取っていますか。

(回答) 具体的に決まっていますが、方向性を検討しているところです。例えば、宮原公民館は小学校跡地に盛り込むなどを検討しています。

・他の公民館についても移転等も含めて考えているのですか。具体的に何か年計画を立てているのですか。

(回答) 将来的には移転などを考えていますが、担当課だけでは決められないのであくまで内部の検討段階です。

・公民館の職員を対象とした避難訓練は実施していますか。

(回答) 毎年1回訓練を実施しています。

・備蓄物資はありますか。

(回答) 避難場所は基本的に小中学校のため、備蓄していません。ただし、初島公民館は初島小学校の代わりに避難所となっているため、備蓄しています。

○青少年教育活動事業

・ジュニアリーダーは何人いますか。

(回答) コロナ前は15名、令和4年度は4名、令和5年度は8名です。

・ジュニアリーダーは中学生ですか。

(回答) 小学校6年生～中学生です。

・ジュニアリーダーの募集はどのように行っていますか。各地区の青少年育成会が中心となり、集めた方がいいと思います。ジュニアリーダーが育つと育成会の発展につながると思います。育成会と相談して地域の活動に参加させるのはどうですか。

・生徒会や児童会が集まる場でジュニアリーダー募集のPRをするのはどうですか。

(回答) そのあたりも含めて幅広く参加してもらえよう募集方法を検討してまいります。

・ジュニアリーダー研修受講後の活躍の場はありますか。

(回答) 市のイベントに来てもらい、手伝ってもらっています。

・県のジュニアリーダー研修では実践的なものもあります。研修受講後に市に還元してもらうのがいいと思います。

○放課後子ども教室推進事業

・運営上の問題点や課題はありますか。

(回答) 参加する児童が限られていることやふれあいルームの内容が固定化されてきていることが課題と感じています。

・指導員は公民館の職員ですか。

(回答) 指導者は公民館の職員とは別です。

・指導員の資質向上のための計画はありますか。

(回答) 集まって情報交換する場を設けており、活動内容を共有しています。

・指導者育成研修を年に何回実施するかなど具体的に決めて、目標、計画を立ててもらえればいいと思います。

○成人式開催事業

- ・参加者からの評価はどうか。

(回答) 来賓の挨拶等は少なくし、小学校ごとのスライドショーを流したり、当時の担任に来てもらったりするなど工夫しており、好評をいただいています。

- ・将来、有田市に戻ってきたいと思わせるような有田市の魅力やビジョンを示してもらえたらいいと思います。

- ・ホームページに開催案内を掲載しているとありますが、閲覧してくれていますか。

(回答) 住民票がある人には個別に案内はがきを送付しています。市外在住者にはホームページ等で周知し、事前に連絡があった方にもはがきを送付しています。

- ・他市町村で18歳を対象として実施しているところがありますか。

(回答) 県内では今のところありません。対象を18歳に変更していくには間の3世代をどうするかといった課題もあり、他市町村の状況も注視しながら検討してまいります。

○社会体育活動事業

- ・金沢市・有田市スポーツ交流について参加者の費用負担はありますか。

(回答) 子どもの負担はありません。保護者が懇親会に参加する際は一部負担してもらいます。

- ・費用が多額ですが成果はありますか。

(回答) 今回は、J2ツエーゲン金沢からの指導も受けることができました。子どもにとって良い思い出になっていると思います。

- ・中学校統合によりこれまで学校対抗だったものが、校内大会になってしまうおそれもありますが、市外のチームを呼んでくることになるのですか。

(回答) 市民総合スポーツ大会ではこれまでも市外からの参加者のオープン参加などを認めていますので、そのようになってくるかと思えます。

- ・スポーツ公園の子供の利用方法はどうなりますか。

(回答) 平日は空きが多いので中学校のクラブ活動でも利用してもらえらると思えます。土日は県サッカー協会が大会でかなり利用する話が出ているほか、夜はフットサルなどの利用を想定しています。

- ・ふるさとの川総合運動公園は今後も使用しますか。

(回答) 浸水被害もあるので、スポーツ公園にシフトできるものはシフトしていく方向性です。ただ散歩で使っていることや地域性もあるので並行して運用してまいります。

○生涯スポーツ振興事業

- ・宮原地区総合型地域スポーツクラブの参加者は宮原限定ですか。

(回答) 活動地域は宮原中心ですが、市全体で参加者を募集しています。市内全域にパンフレットを回覧し、宮原地区以外からの参加者も増えたと聞いています。受け入れ側としての制限はありませんが、他地域からの参加では保護者の送迎等の負担はあると思えます。

・継続的に補助金はあるのですか。

(回答) 令和4年度は設立支援、令和5年度から5年間は設立自立支援、クラブマネージャー支援のスポーツ振興くじからの補助金があります。補助金があるうちに自立して運営を続けていってほしいと考えています。

・他の地域でも同様にスポーツクラブの設立があれば補助金の対象になりますか。

(回答) 設立の声があればサポートしていきます。

・指導者がなかなかおらず、続けていくのが難しいのだと思います。

・子どもが減少している中で、各地域で小さいチームをいくつか作るよりは、市全体でまとめて規模を大きくする方がという点もありますよね。

・全国大会等出場奨励金の対象は市内在住者ですか、通学者も含まれますか。

(回答) 市内在住者と出身者が対象です。他市町村に住民票があり、市内の学校に通学している者は対象外です。

・全国大会の会場がどこでも奨励金は1万円ですか。

(回答) あくまで激励のものなので一律1万円です。中学生の場合は別途教育総務課で大会参加のための補助金があります。

○社会体育施設管理事業

・大規模改修は何を予定していますか。

(回答) 市民球場の人工芝が10年以上経過しており、本来の耐用年数を超えています。スコアボードも廃盤になっており修繕したいと考えています。スポーツ振興くじの補助金にエントリーして修繕したいのですが、市の負担も高額になるため、検討してまいります。

・市民体育館の利用者減少の要因は何ですか。

(回答) 照明のLED化工事で使用できない期間があったことだと思われます。

・スポーツ公園との兼ね合いはどうなりますか。

(回答) 指定管理者が異なりますが、互いに協力し運営していきます。土日の駐車場の混雑が心配ではありますが、消防の化学基地やそとはまのプール、港小学校の運動場を臨時駐車場として利用することも考えています。

・指定管理者へのクレームやトラブルはありますか。

(回答) 特に聞いていません。

・スポーツ公園の指定管理者が管理未経験の業者に決定しましたがどのように決まったのですか。

(回答) 指定管理者選定委員会によるプロポーザル審査で選定されました。管理の実績はありませんがその他の部分で得点が高く、決定しました。

・えみくるARIDA利用者もスポーツ公園の駐車場を使用できますか。

(回答) 平日は空いていると思うので使用してもらえます。

・スポーツ公園で大会をする予定はありますか。

(回答) 大会については行われると思いますが、誘致を進めて参ります。

○市民水泳場管理運営事業

・スイミングスクールの会員数は何人いるのですか。また、会費収入があれば相当な利益が上がっているはずであるので、指定管理料はもっと低くできるのではないですか。

(回答) スイミングスクールの会員は約600名であります。スイミングスクールは自主事業であるため、会費収入が全て指定管理料の減額につながる訳ではありません。スイミングスクールにかかる専用利用料及び個人利用料の額のみが収入とみなされます。

・会員数が最近増えていないように思います。

(回答) 子供の会員は一時期700名程度でしたが、最近は減ってきています。

・本来は閉館後の日曜の午後6時以降に、プールを利用しているようですが、開けているのであればその時間も使わせてもらいたいです。

(回答) 日曜の18時以降は、有田地方水泳協会が水球の練習に使用することを許可しています。開館時間の延長については、次の指定管理期間更新の際に検討します。

・プールで6レーンほど専用利用しているところを見ましたが、一般利用者が利用できなくなっていますか。

(回答) 専用利用のレーン数は、全8レーンの半分、4レーンまでと決めていて、指定管理者からはそのように運用していると聞いています。

・正職員の数は、当初より減っているのではないですか。

(回答) 正職員の数は、当初は4人で現在は5人と聞いていますので、減ってはいないと思います。

・インストラクターの資質に疑問があります。初心者向けの水泳教室はありますか。

(回答) 午前中に大人向けの有料教室を実施しています。

・ジムには指導できる職員を少なくとも1人は配置してもらいたいです。

(回答) 指定管理者からは、全職員共通の研修を行っておりますが、経験等による差はあると思いますのでシフト対応にて改善しますと伺っています。

・利用者のおしゃべりが長い職員がいて、40分も続いていたので注意したことがあります。

(回答) 指定管理者に職員の教育を徹底するよう指導します。

・職員はローテーションで様々な業務しているようですが、指導できる人は指導時間を長くするなど適材適所に配置できるよう指定管理者に強く言っていただきたいです。

・健康増進施設であるのに、子どものための施設になっていませんか。

(回答) 当初の想定よりスイミングスクールの占める割合が大きくなっていますが、大人と子供それぞれの利用に対応できるよう運営方法を工夫します。

・駐車場が混雑し、子どもに事故が起こらないか心配です。

(回答) 新都市公園がオープンすれば、平日の駐車場問題は解消されると思います。

・市外利用者の割合はどれくらいありますか、また増えているのですか。

(回答) 市内、市外の割合は、ほぼ7対3であり、その割合はほとんど変わっておりません。

・子どもの利用料は市内在住者と市外在住者で差はありますか。

(回答) 一律です。水泳教室は自主事業なので市として利用料の取り決めはありません。

○図書館運営事業

- ・決算額増加の要因は何ですか。

(回答) 図書管理システムの導入費用が増えております。

- ・決算財源内訳のその他は何ですか。

(回答) ふるさと応援寄付金です。国支出金は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。

- ・電子図書館の利用はどうか。

(回答) 子どもから年配の方まで使っていただく中で、小中学校の利用が多いです。児童生徒にIDの番号を配布しているので読書や勉強に使っていただいているのが要因だと思います。

- ・ライセンス使用料は毎年かかる経費ですか。

(回答) 電子図書の購入費用にあたるもので、導入当初は図書を充実させるため多額となりましたが、来年は減少します。

- ・高齢者が電子図書を利用するのは難しいのでは。

(回答) 利用促進に向けて、講座を開いたり、動画を作成しYouTubeにアップしたりしています。

- ・高齢者は公民館を利用して読書する方も多いので、そこでPRするのはどうですか。

(回答) 公民館でのPRも含め、検討してまいります。

- ・電子図書の利用年齢層は分かれますか。

(回答) 小中学生が中心です。読書では学習漫画も読めますし、1人1台のタブレットを持っていますので1冊課題を与えて授業をしたり、学校で利用したりしているのが要因だと思います。

・自己評価について、必要性は「必要不可欠」、公平性は「極めて高い」としてもいいと思います。

- ・貸出数が多いのか少ないのか分かりにくいです。

(回答) 以前の図書館よりは大幅増加しており、コロナ禍でも貸出冊数は変わりませんでした。

- ・読書以外に勉強する場所として利用している子どもを多く見かけますがいいと思います。

- ・CD、DVDの貸出数の統計はありますか。新しいDVDはありますか。

(回答) 令和4年度の貸出数は約13,000点でした。定期的に新しいDVDを入れています。

○文化振興事業

・市民会館を利用したとき素晴らしいコンサートでも空席がもったいないと感じるときがあります。他市町村にももっとPRしたらお得な値段でいい芸術に触れられるのになと思います。

(回答) 他市町村の施設にチラシやポスターを送付したり、LINEを活用したりしています。もっと周知に努めてまいります。

・PRの工夫をしていますか。

(回答) 教職員の組合に声をかけてPRしたこともあります。毎回500人くらいはきてほしいところです。もっとPRに努めて行かないといけないと思います。

・紀文ホールのキャパは何人ですか。

(回答) 714人です。

・満員になったのはないですね。

(回答) 自衛隊コンサートなどの整理券がほぼ捌けたイベントであっても用事などで来場者は減ることが多いです。有料チケットの場合はだいたい来てくれますが、そうすると売れ行きがよくないこともあります。

・テレビで露出するさかなクンや南こうせつのはきは満杯に近づくようですね。それ以外の方たちも質が高いのにはと思いますけどね。

(回答) 有名な方はたくさん人が来てくださいますが、公演の金額も高くなるので兼ね合いも難しいところです。

・自衛隊音楽隊吹奏楽コンサートは人気ですが、毎年来てくれるのですか。

(回答) 今年度も海上自衛隊呉音楽隊が来てくれます。

・会場に来た人は良かったといいますけどね。

(回答) これまで来たことのない人にも届くようにPRを考えていかないとと思います。

・学校の教科担当にも周知して、コンサートに子供たちにも来てもらえるようにしたいと思います。

(回答) 学校独自でも2年に1回程度、市民会館に国の補助金を活用して大きな交響楽団などを呼んだりしています。子どもたちにも来てもらえるようもっとPRに努めて行きます。

○文化財保護事業

・卒塔婆修理の所有者負担の所有者は誰ですか。

(回答) 所有者は神光寺であり、国・県の補助金もあります。市が管理しています。

・史跡の再発見はありますか。

(回答) 令和元年から石造の再点検を実施しており、学芸員に研究してもらえたらと考えています。

・岩室城跡の歴史があると思います。有田川町、湯浅町と協力して研究してもらいたいです。

(回答) 民地もあるのですぐに実現は難しいですが機会を見て実現できればと思っています。

・文化財を発掘したい場所はありますか。

(回答) 学芸員は初島に古墳があるのではと考えており、調査に行く予定があります。市域の遺跡については詳細が不明なものが多く、昨年度実施した新堂遺跡のように開発等が行われる際に実施していきたいと考えています。

・市民の関心が大事だと思います。そのためには小中学校でももっと時間を設けてもらう取組をするのがいいと思います。

(回答) 昨年度、初島小学校にて出前授業を実施しました。

・明恵上人生誕 850 年記念事業で他町の事業や遺跡などは分かりやすいですが、有田市は影が薄い気がします。

(回答) 県立博物館で記念特別展が開催されていますが、有田市としても遺跡を P R してまいります。

・子どもへの文化財に関する教育はどうなっていますか。

(回答) 学校での校外活動の際などに資料館へ来てもらうよう勧めています。

○特別展開催事業

・学校ごとに参加してもらったりするのですか。社会教育活動として活用できるようになるといいと思います。

・労力も大きいと思うので、複数年かけて一つの事業を実施してもらえればいいと思います。